

# 大垣桜高等学校 トピックス

平成 30 年度 専門高校活性化に向けた総合戦略事業

「専門高校における地域の特色を生かした教育の実践研究」

掲載日 平成 30 年 9 月 5 日(水)

## 尾州の匠から尾州織物の魅力を学ぶ！

尾州は、日本一の毛織物産地であり、イタリアのピエラと並び評されるほどの高級毛織物産地です。伝統の織機、職人の技、良質で豊富な水資源で作られた生地は、国内のみならず欧米のトップブランドでも多く採用されています。そんな世界のファッション業界のトップゾーンを支えている産業が身近にあるという恵まれた地域で私たちはファッションを学んでいます。

本校では、数年前から尾州織物の魅力を再認識し、地域や日本全国、そして世界に発信することを目標に様々な取り組みをしています。

今回は、尾州織物の特徴や魅力を学ぶことを目的とし、2人の匠による講習会を行いました。

### <講習会>

期日：平成 30 年 8 月 30 日（木）

対象：服飾デザイン科 1 年生(40 人) 2 年生(37 人)

講師：有限会社カナーレ代表取締役社長 足立 聖 氏

株式会社イワゼン代表取締役社長 岩田 善之 氏

岐阜県毛織工業協同組合 専務理事 山田 幸士 氏

### <講義の様子>



「織物にもパンダ商品が必要」と、ビジネス視点を学ぶ

### <内容>

1. 尾州織物の特徴と魅力
2. 独創的な織物を生み出す秘訣
3. サンプルテキスタイルの閲覧
4. 質疑応答

シャトル織機でしかできない「つづれ織」のジャケット



糸のサンプル帳  
様々な素材が織糸として使われている



特殊なジャガード織



バイアスカットした布を織り込んだ「裂き織」

「失敗から新しい織物が生まれる」「アイデアとアイデアを繋げて新しい織物を生む」「何事もまずはやってみないと新しいものは創り出せない」ということを匠の言葉から学びました。

目新しい織物を追求め日々研究を重ねている2人の匠の熱意と、創り出された数々の美しい布に触れ、地域産業であるこの尾州織物にますます興味をもち、この魅力を伝えていきたい、そして私たちも新しいものを創り出すことに挑戦したいという意欲が湧いてきました。